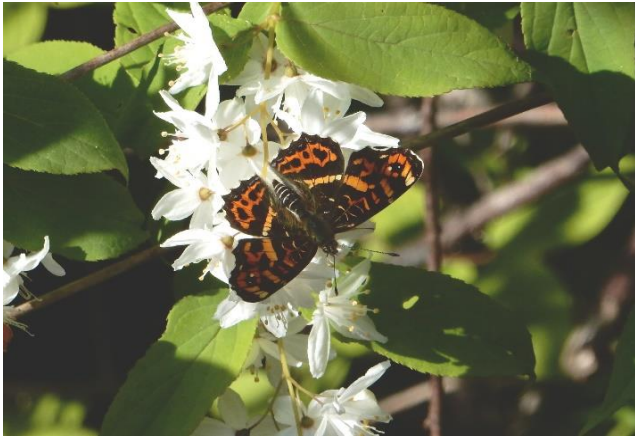
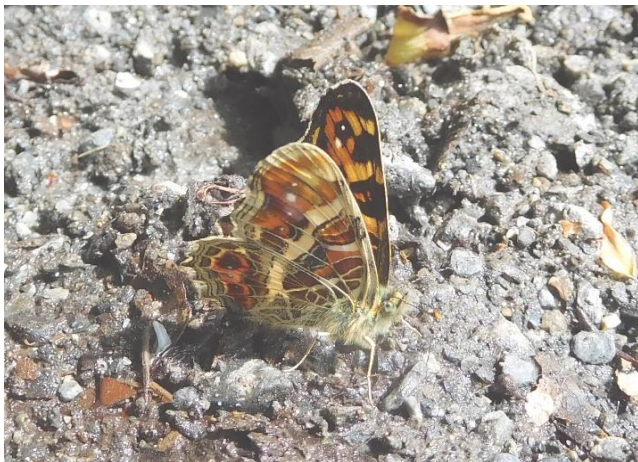


和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
サカハチチョウ	タテハチョウ科	逆さ「八」の字模様	X	X	X	全国

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態					
イラクサ類				3		蛹 (さなぎ)					



奥多摩日原 5月上旬 ウツギで吸蜜  
この向きだと「逆さ八の字」ではなくなる・・・

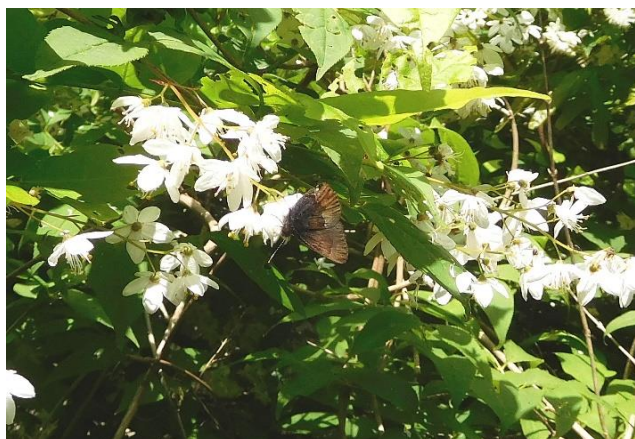


奥多摩日原 5月中旬 裏は複雑な模様

ハイム、多摩川土手、生田緑地等この周辺では見られませんが奥多摩方面では新緑の季節に多い蝶です。

ミヤマカラスアゲハの撮影に例年訪れる奥多摩日原鍾乳洞付近の溪流沿いの道の両側に咲くウツギに吸蜜に来ている姿がよく見られます。

「逆さ八の字」模様からつけられた名前ですが、もう少し考えて欲しかった気がします。奥多摩のこの季節には、ほかにもカラスアゲハ、オナガアゲハ、スミナガシ、トラフシジミなどが見られ、少し早めでは、早春の蝶であるミヤマセセリ、アオバセセリ、スギタニルリシジミ、それと生田緑地からは消えてしまったらしいシジミチョウ科のコツバメも見られます。



コツバメ 奥多摩日原 5月中旬 ウツギで吸蜜  
(地味な早春のシジミチョウ。記録はあるが生田緑地からは消えた?)  
「ツバメ」を名にもつ数少ない蝶 (ほかに、ツバメシジミ、ムラサキツバメ、キマダラルリツバメ。ハイム周辺で会えるのは、ツバメシジミとムラサキツバメの2種)。



トラフシジミ 奥多摩日原 5月中旬 ウツギで吸蜜  
名前の由来の虎模様は写真の春型では白く鮮やかだが夏型は全体に褐色になり、余りはっきりしない。